

レポート#3  
**駒木祭**  
2015.11.2~3

駒木祭は、江戸川大学と江戸川大学総合福祉専門学校が共催する学園祭。

**取材**

# 江戸川ガールズコレクションは学生スタッフがつくる



江戸川ガールズコレクションを主催した「江戸川大学EGC実行委員会」に学園祭の2日間密着取材をした。アーティストライブやファッションショーを企画・運営したのは、社会学部経営社会学科の2年生と1年生だ。撮影・取材: 志摩千尋・綿引桃花 文: 志摩千尋

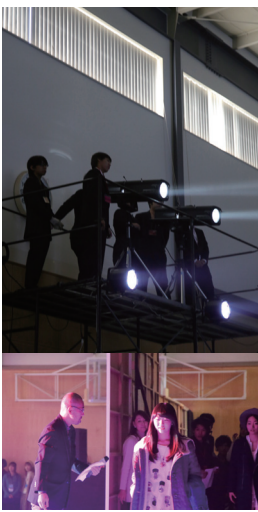
江戸川ガールズコレク ション(以下EGC)のテーマや演出は、毎年変わって いる。昨年は、キッズモデルがランウェイを歩いていた。今年のテーマは、「メンズも歩く」である。 スタッフは、音楽ビジネス

コースとファッションビジネスの2年生20人が中心となり、1年生約120人はお手伝いだ。経営社会学科の1年生は、毎年EGCに全員参加することに なっている。2年生の役割は、プロデュ

サー、演出ディレクター、スタイリスト、照明、音楽、広報・宣伝である。11月2日(月)8時学園祭初日。江戸川ガールズコレクションの会場の第二体育館で2年生と業者さんはシート張りから始めた。シートを張り終えると、1年生は10時に集合して全体のミーティングが始まる。同学科の3年生は後輩を指導しに来た。

そのあと学生スタッフは、舞台設置の機材を運ぶ。機材を全て運び終えるのに、1時間ぐらいかかった。業者が舞台を組み立てるのを手伝い積極的にしている学生たちからは、EGCを成功させたい思いが感じられた。11月3日(火)10時から13時、本番直前。多くの観客が来場し、立ち見客もいる。学生スタッフは全員スーツに身を包み、緊張して本番に備えている。舞台裏では、井上苑子さんとモデルが忙しく動いている。13時30分、本番スタート。

上 まるでプロのように機材を操作する学生スタッフ。下 モデルに直接指導をしている古川さん。



イベント終了後、学生スタッフに話を聞いた。1年生は「初めて江戸川ガールズコレクションに参加して大変だったけど、楽しかった」「すごく本格的で、びっくりした」と驚いていた。2年生の統括プロデューサーの粕山和枢さんは「自分たちひとりじゃなくて、チームワークの大切さを感じました。人数が多くて、意見のぶつかり合いになるけど、そういうのを乗り越えていい結果になった」という。中村真清さんは「イベントをやっているときは大変だなと思ったんですけど、終わった後は寂しくて、また江戸川ガールズコレクションに参加したいと思いました。準備の時は先輩が教えて来てくれたり、来年は先輩のように後輩に教えに来ようと思います」と来年のことに話題がよんだ。EGC実行委員会は来年、どんな新しいことに挑戦するのだろうか。



上 さりげないお揃いコーディネートで歩く2人  
下 今年のゲストは、井上苑子さんとマギーさん。